

# 松伏二中 での マナビカタ

## 中一 音楽

### 教科モットー

歌うことを楽しみ、  
表現することに積  
極的になろう！



### 学び方の系統

3年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞、総合  
芸術、日本の音楽、のびやかな歌  
声、合唱の響き等。

2年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞、総合  
芸術、日本の音楽、のびやかな歌  
声、合唱の響き等。

1年  
旋律の重なり方、曲の仕組み、い  
ろいろな音楽、曲想・歌詞・イメ  
ージ、日本の音楽、明るい声、合  
唱の響き等。

### 教科のねらい

- 1 学習活動の充実を図り、多様な音楽経験を積ませ、広い音楽的視野を持った生徒の育成を図る。
- 2 音楽を愛好する心情と豊かな感性の育成を図る

### 学年の学習内容

- ・合唱  
クラス合唱・学年合唱を行うことで、混声合唱の楽しさを勉強する。
- ・器楽  
リコーダーやギター、ヴァイオリンに触れ、楽器によって演奏（表現）する楽しさを勉強する。
- ・鑑賞  
いろいろなジャンルの音楽を聴くことで、美しさや楽しさ、楽器の音色を味わう。

### 評 価

- ① 音楽への関心・意欲・態度  
音楽へ親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとする。  
(忘れ物や指揮・伴奏・パートリーダー等進んで立候補したりする。)
- ② 音楽表現の創意工夫  
音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。(楽譜上の記号や意味を理解し、表現しようとしている。)
- ③ 音楽表現の技能 音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。
- ④ 鑑賞の能力 音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。

### 言語活動

思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組

- ① 音楽の構造的側面（音楽を形作っているもの）、リズムや記号等に気づき、どんな意味を持つか説明したり調べたりして、楽譜に直接記入していく。
- ② 音楽の感性的側面（生徒が曲を聴いて感じ取るもの）を自分の言葉で説明してみたり、発表しあい、キーワードとして楽譜等に記入していく。

# 学習計画

学期	月	学 習 事 項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	「校歌・Forever・My Voice」 二中の校歌を歌えるようにします。 クラスの仲間と初めて歌を歌います。	まずは新しい仲間と楽しんで歌うことです。発声方法や声変わりについても勉強します。	
	五月	「そのままの君で」 「春」～ヴィヴァルディ～ ヴィヴァルディ作曲の「春」を鑑賞します。	パート分けや混声合唱について覚えましょう。	
	六月	アルトリコーダー 「Lesson1」 「そのままの君で」しらさぎ祭のクラス曲を決定し、練習に入ります。	・アルトリコーダーの基礎を身につけよう。 ・クラスの雰囲気にあった無理のない曲を選びましょう。	
	七月	「しらさぎ祭・クラス曲の練習」 パート別の音取りを完成し、合唱することの楽しさを勉強します。	積極的に音取りに参加しましょう。	
二学期	九月	「しらさぎ祭・クラス曲の練習」 クラス曲の歌詞の内容などをクラスで話し合い、本番まで仕上げていきます。	合唱することを楽しみましょう。	
	十月	「ギター・ヴァイオリン選択授業」 どちらかを選択し、器楽を楽しむ。音楽の基礎知識のプリント学習開始。	歌が苦手な人も、楽器を使った表現ができます。隠れた才能を見つけよう。	
	十一月	「ギター・ヴァイオリン選択授業」 「音楽の基礎知識プリント学習」 ※7月～11月は授業が週2時間あります。	小学校で習った基礎知識を生かし、楽譜が読めるように訓練しましょう。	
	十二月	「魔王」～シューベルト～ 鑑賞します。 役になりきって朗読したり、歌ったりします。 日本の楽器の響き「箏」実際に箏に触れてみます。	曲に入り込んで聴きましょう。箏にも積極的に触れてください。	
三学期	一月	「大切なもの」 合唱曲集の中から、学年合唱として学年にふさわしい曲を選び練習します。	声変わりがほぼ終わり、歌いやすくなります。更に大人の声を目指しましょう。	
	二月	「国歌・校歌・そのままの君で・上げば尊し」 卒業式の練習です。3年生を送る素晴らしい歌になるように練習をします。	1年間で勉強した発声方法を卒業式で生かせるように努力しましょう。	
	三月	「卒業式の練習」 クラスで取り組みたい曲などを卒業式後に歌い、1年の締めくくりとします。	音楽にはいろいろな種類があります。ジャンルにとらわれず、音楽を楽しみましょう。	

・授業の中で歌のテストを実施することがあります。

# ようこそ、音楽の授業へ！

## 音楽の授業は こう受けよう！

大きな口を開けて歌うことが基本です。お腹から無理のない発声で歌いましょう！

毎回の授業、忘れ物をすると成績に大きく関わります。忘れ物をしないようにしましょう。

授業の最初に声だして簡単な曲を歌います。その際、指揮や伴奏をすると評価があがります。積極的に立候補しましょう。

アルトリコーダーやギターやヴァイオリンを使う場合があります。積極的に練習をし、いろんな楽器の面白さを知って下さい。

授業を受ける前  
受けた後  
これだけはやって  
おこう！

### 授業を受ける前

- 忘れ物がないかの確認。
- いい声が出せるように、喉を開けておきましょう。(何もしない状態だと声帯がしまってしまう)
- うがいをしておきましょう。

### 授業を受けた後

- うがいをしましょう。
- 声帯を傷つけないように、叫んだり騒いだりしないようにしましょう。

### 授業に持ってくるもの

音楽4点セット (音楽1年の教科書・器楽の教科書・コーラスフェスティバル・ファイル・筆記用具)

### 各授業で評価に係わる大事な点

- ① 出席・欠席・忘れ物。
- ② 指揮者・伴奏者・パートリーダー立候補。
- ③ 音楽的な声(いい声で無理のない)で歌えているか。
- ④ いろいろな楽器に興味・関心をもち、積極的に授業に参加しているか。